

「でんさい」利用企業の事例紹介



福助工業株式会社

2018年5月28日

目次

1. 企業概要
2. 事業紹介
3. でんさい導入の経緯
4. でんさい導入までのスケジュール
5. でんさい導入による効果
6. 「でんさい」にして良かった点
7. // 苦勞している点
8. 「でんさい」で受取を検討中の企業さまへ
9. 最後に

1. 企業概要

- 商号 福助工業株式会社
- 本社住所 愛媛県四国中央市村松町190
- 事業内容 各種軽包装資材製造販売
- 売上高 974億5,579万円（平成28年度）
- 代表者 代表取締役社長 井上治郎
- 従業員数 1,034名
（福助グループ2,900名）
- 事業所等 支店 5か所
営業所 6か所
工場 20か所
（国内17・海外3）



（本社工場外観）

2. 事業紹介 (1)

合成樹脂部門

ポリ袋やレジ袋といった流通資材から産業用資材まで幅広く製造しています。国内と海外に生産拠点を持つ強みを活かし、コストパフォーマンスの求められる製品は海外工場を活用し、機能性が求められる製品は国内で製造しています。



食品容器部門

食品容器は、内容物や使用用途に応じて「耐熱性」「耐寒性」「耐油性」「バリア性」「透明性」「光沢性」などが求められます。多様化するニーズにお応えできるよう、数多くの製品をラインアップしています。



ラミネート部門

食品、医薬、日用品など様々な用途に対応できるよう、最新鋭の印刷機やドライラミ機、押出しラミ機、多彩な製袋機にスリッター機を備え、多種多様な幅広い製品の加工が可能です。



紙製品部門

昔ながらの人造皮や紙竹皮、紙手提げ袋の他、耐油耐水紙を使用した多機能なテイクアウト用袋など、幅広く製造しています。



2. 事業紹介 (2)

不織布部門

食品用のトレーマットや、台所の水切り袋などの生活関連用品、紙オムツなどの衛生・メディカル関連用品など、様々な製品を製造しています。



複合部門

合成樹脂、ラミネート、食品容器、紙製品、不織布製造で培った技術ノウハウを集結して、組み合わせた製品が複合製品です。高い品質管理のもと、惣菜用袋、バーガー用袋、食品包装用紙ラミフィルムなどを製造しています。



環境への取り組み

各家庭で、ゴミとして出されるレジ袋の有効利用を目指し、消費者と企業が一体となったレジ袋の完全リサイクルシステム「レジ袋toレジ袋」リサイクルや、食品トレーの再利用として「トレーtoトレー」リサイクルも実施しています。また、地球環境に配慮した製品づくりとして、CO₂削減を目的とした、バイオマス素材を使用した製品開発にも積極的に取り組んでいます。

品質への取り組み

私どもは、お客様第一主義のもと、お客様の要求品質に応え、社員一人ひとりが品質意識を持ち、お客様に満足していただける製品を経済的かつ安定的に供給し続ける、総合生活提案型企业を目指します。

3. でんさい導入の経緯

手形業務は経理部の業務負担が大きい

- ・グループ全社の手形業務を経理部で一括処理
- ・お取引先さまからの分割発行依頼にも個別対応
- ・印紙税の節約をするため、手形を分割発行

- ・手形発行枚数は月間600枚超
- ・手形の郵送業務も大変（宛名印刷・封入）
- ・チェッカーが耐用年数より早く壊れることも…

導入を後押し

世の中の変化と問題意識

支払作業の
効率化

現物管理の
リスクヘッジ

時代の流れ
合理化・IT化

金融機関
からの提案

弊社基幹システム刷新
の時期到来

基幹システムの刷新に合わせ、でんさいでの支払導入の検討を開始

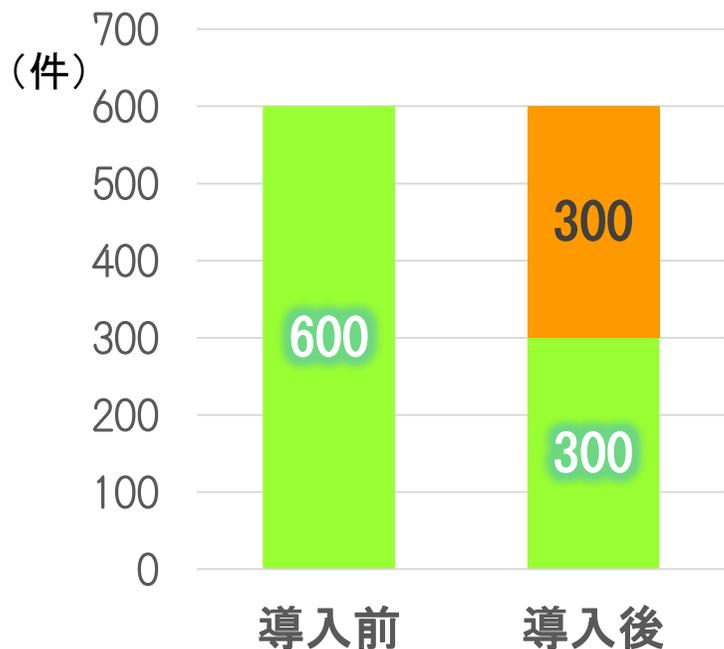
4. でんさい導入までのスケジュール

時 期	対 応
平成27年	金融機関から「電子記録債権（でんさい）」の提案
平成28年	社内で本格検討 （メリット試算、業務フローの確認等）
平成28年9月	でんさい導入の決定
平成29年10月	でんさい開始（手形からの切り替え依頼）の案内状を送付（1回目）
平成29年11月	でんさいの利用開始 新規発生 334件 ※11月：本番環境でテスト（10件） ※12月：本格開始で334件
平成30年1月	基幹システムの刷新
平成30年7月	2回目の「でんさいへの切り替え依頼」の案内状を送付予定

- ・ 現行の会計システムが、でんさいに対応済みであったため改修は不要だった
- ・ でんさいを早く導入したいとの思いがあり、システムの二重投資にならないことを確認のうえ、基幹システム刷新の2か月前に、導入に踏み切った
- ・ 支払利用の開始にあたっては、伊予銀行さんのサポートがあり大変助かった

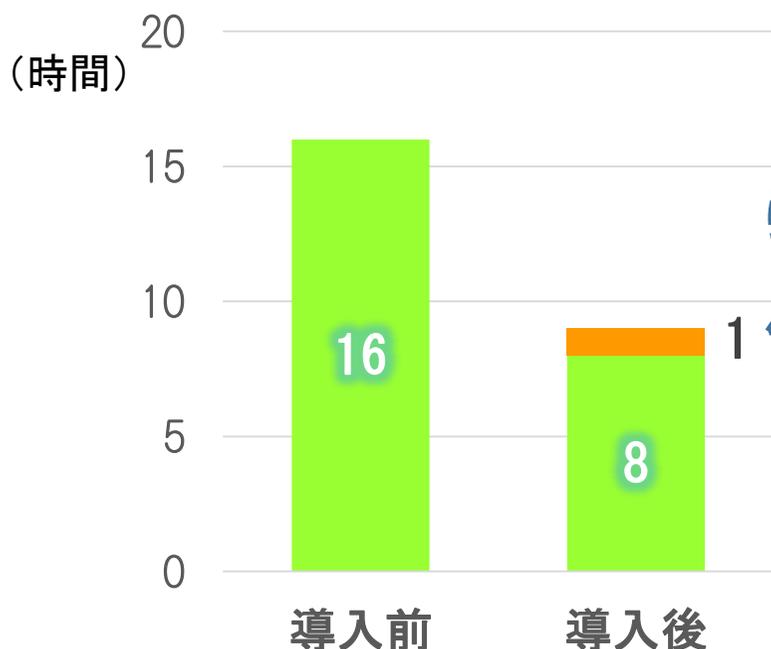
5. でんさい導入による効果

手形・でんさい支払状況（月次）



■ 手形 ■ でんさい

手形・でんさい事務時間（月次）



■ 手形 ■ でんさい

時間効率
UP!!

- ・ でんさい導入により手形枚数は半減（約600枚⇒約300枚）
- ・ 手形業務の月間事務時間は、約16時間⇒約8時間へ大幅短縮
でんさいの月間事務時間は約1時間（量が増えても殆ど変動しない）
- ・ 印紙代も月間で数十万円削減
- ・ 手形の郵送費削減は、でんさい発生記録手数料とほぼ同額（相殺）

6. 「でんさい」にして、良かった点

期待通りのメリットがあった

- ・ 手形枚数の半減で時間効率が大幅に改善
- ・ 郵送業務や印紙代も大幅に削減



期待以上に良かったこと

- ・ 残業してでも、大量の手形を処理しないといけないというプレッシャーの軽減
- ・ 基幹システム刷新前のでんさい導入により、手形発行業務の負荷が減少し、システム変更に伴う諸対応に集中できた
- ・ でんさいの操作方法は難しいのではと思っていたが、そうでもなかった



弊社・お取引先さま双方にとって良かったこと

- ・ 領収書の到着確認が不要となり、自社の業務削減に加えて、お取引先さまの業務負荷も軽減された
- ・ 手形郵送によるタイムロスがなくなり、支払日に入金処理が可能
- ・ 相殺のある場合、支払額の確認に余裕ができた

7. 「でんさい」にして、苦勞している点

- ・ 金融機関ごとに入力画面や操作方法が相違。経理部でグループ全社のでんさい業務をしているため、複数の金融機関と取引がある弊社では、慣れるのに大変
- ・ でんさいの支払や受取連絡のメールが半端なく届く（月間300件程）
- ・ 一括請求ファイルは、エラー1件のために全部がエラーとなる仕様。お取引先さまに確認のうえ、修正し、一括請求を再実施（新規は要注意）

※会計ソフトによっては、期日払いで管理されているお取引先さまもあり、弊社で残高管理が難しいため、でんさいでの受取を見送った例も…

8. 「でんさい」で受取を検討中の企業さまへ

メリット

- ・ ペーパーレス。現物の管理が不要。紛失・汚損・盗難のリスクがない。
- ・ 領収書の返送、集金の手間が省ける。
- ・ 手形取立の手間が省ける。支払期日に自動的に入金される。
- ・ 取立手数料、領収書の印紙代、郵送費等のコスト削減。
- ・ 必要な分だけ分割譲渡、分割割引ができる。

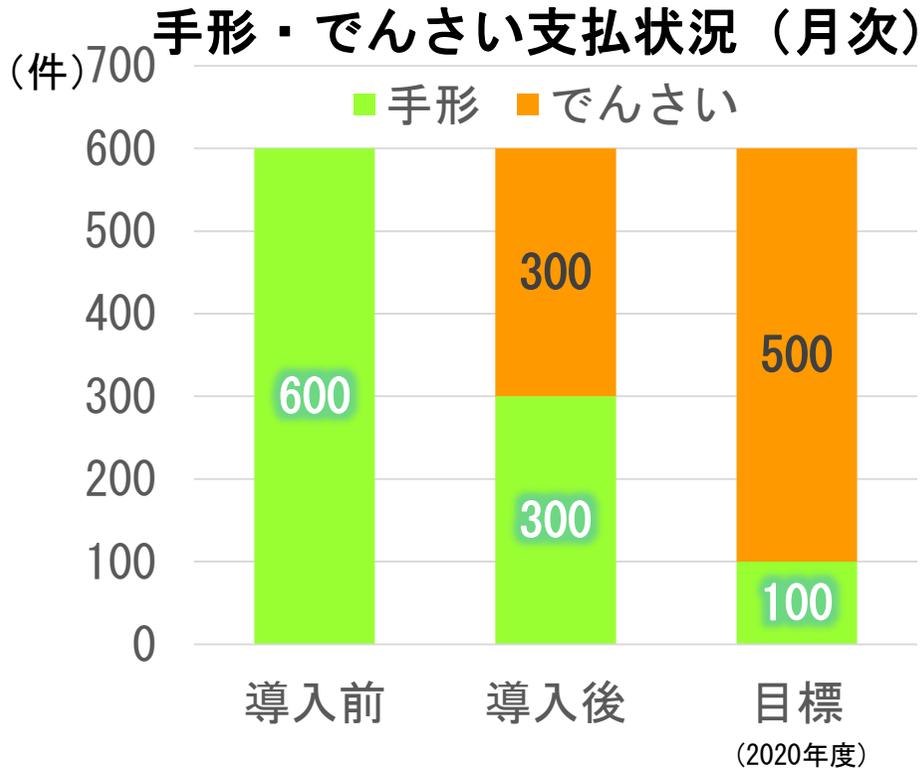


デメリット（面倒なこと）

- ・ インターネットの環境やインターネットバンキングの契約が必要（常に最新バージョン）。
※書面で取り扱いしている金融機関も有。
- ・ でんさいの契約が必要。
- ・ 会計システムのオプション追加や改修が必要な場合もある。
- ・ 入金手数料や譲渡記録手数料がかかる。
※手数料は金融機関によって相違有。

「でんさい」での受取は簡単です！
「でんさい」で受取をしてみませんか！

9. 最後に



今後の課題（本年度の目標）

- ・ でんさい切替率65%の達成
⇒ H30年7月頃に2回目の案内状を送付予定

2020年目標

でんさい切替率 80%超

皆さまへお伝えしたいこと

- ・ 3年前、私どもは「でんさい」は難しいのではないかと感じていました。しかし、実際はそうではありませんでした。
- ・ 「でんさい」を導入すれば、多くの企業さまがメリットを享受できるものと思います。

ご清聴ありがとうございました。



福助工業株式会社